

【別紙1】令和6年度 環境基本計画 環境指標の進捗状況

基本目標	施策の方向性		環境指標	現況値 (計画時)	目標値 (達成年度)	令和5年度 実績	令和6年度 実績	令和6年度の 取組内容	前年度実績 との比較	達成状況
1 市の自然豊かな環境の後世への継承	1 緑豊かな山々と美しい水辺のある自然との共生	1 森林環境の保全	間伐等実施面積	183.7ha (令和元年度)	320ha (令和12年度)	147.17ha	163.00ha	適期適地森林での間伐施業を支援することにより、森林の多面的機能の保全と人工林における林分育成の向上を図っているが、間伐面積は昨年度より増加した。	15.83ha 増	×
			防除区域内松くい虫被害木処理量	20.67m <sup>3</sup> (令和元年度)	20.00m <sup>3</sup> (令和12年度)	175.12m <sup>3</sup>	122.42m <sup>3</sup>	・有人ヘリ散布(山北・神林地区) A=58.17ha ・ドローン散布(山北・神林・村上地区) A=45.93ha ・伐倒くん蒸 V=122.42m <sup>3</sup> 昨年度同様に被害区域の調査と駆除、防除作業を行い、被害量の抑制を図った。昨年度に比べ被害木体積は減少した。	52.7m <sup>3</sup> 減	×
		5 野生鳥獣保護と鳥獣被害対策の両立	有害鳥獣による被害面積	11.33ha (令和元年度)	10ha (令和12年度)	6.00ha	4.22ha	R6電気柵 27集落、122箇所設置 電気柵設置済圃場における農作物被害はほぼ抑制されているが、未設置個所に被害が集中する傾向がみられる。 ・今後も電気柵の整備、駆除事業を実施していく。 ・イノシシによる被害範囲が拡大していることから、今後もイノシシ用電気柵の設置を重点的に行う。	1.78ha 減	○
			有害鳥獣による人的被害件数	1件 (令和元年度)	0件 (毎年)	0件	0件	クマによる被害防止のため、農林水産課、環境課、総務課の3課で連携して対応することとした。新潟県で発表した「クマ出没警戒注意報」「クマ出没警戒警報」「クマ出没特別警報」の各ステージにあわせ、市民へアプリ・メール・SNS・防災行政無線・市報・パトロール等で周知、警戒を実施し、人身被害は発生しなかった。	被害なし継続	○
2 持続可能な循環共生型の社会	1 良好な生活環境の保全	1 快適な大気環境の保全	光化学スモッグ注意報発令件数	0件 (令和元年度)	0件 (毎年)	0件	0件	注意報は発令されず、大気汚染の進行も確認されなかった。 毎年県と情報伝達訓練を実施しており、発令時の対応体制は整っている。	発令なし継続	○
		2 快適な水環境の保全	河川水環境基準達成率(BOD等)	100% (令和元年度)	100% (毎年)	100%	100%	年2回、下水処理場からの放流水や河川等公共用水域の水質検査を実施。放流水においては、BOD等の基準が適合と認められた。	増減なし	○
			水洗化率(公共下水道・特定環境保全公共下水道)	72.3% (令和2年度)	82% (令和12年度)	76.8%	78.0%	市報等による啓発を実施した他、排水設備等設置資金貸付預託金制度による支援、下水道フェアの開催や住まいづくり推進事業補助金制度による下水道接続呼びかけなどを行った。	1.2% 増	×

基本目標	施策の方向性		環境指標	現況値 (計画時)	目標値 (達成年度)	令和5年度 実績	令和6年度 実績	令和6年度の 取組内容	前年度実績 との比較	達成状況
2 持続可能な循環共生型の社会	1 良好な生活環境の保全	2 快適な水環境の保全	水洗化率(農業集落排水施設)	85% (令和2年度)	95% (令和12年度)	88.4%	89.3%	市報等による啓発を実施した他、排水設備等設置資金貸付預託金制度による支援、下水道フェアの開催や住まいづくり推進事業補助金制度による下水道接続呼びかけなどを行った。	0.9% 増	×
			合併処理浄化槽普及率	86.7% (令和2年度)	94% (令和12年度)	84.8%	85.9%	設置費補助及び維持管理費補助を行った。また設置費補助は1件の実績があり普及を進めた。 しかし、空き家が増えて浄化槽世帯の減少率が大きい ため普及率は減少している。	1.1% 増	×
		3 安全・安心な環境の保全	新たな土壌・地下水汚染発生件数	0件 (令和元年度)	0件 (毎年)	2件	1件	1件検出され、周辺に飲用井戸がないため飲用指導は実施しなかったが、周辺住民には汚染状況を文書で周知した。また、新潟県新発田環境センターと情報を共有しながら、対応に努めた。	1件 減	×
			化学物質による環境汚染事故の発生件数	0件 (令和元年度)	0件 (毎年)	0件	0件	新たな汚染は発生しなかった。県と連携し、対応体制は整っている。	発生なし継続	○
		4 その他の環境の保全	公害苦情件数(騒音、振動、悪臭)	11件 (令和元年度)	5件 (令和12年度)	4件	6件	市民から苦情の連絡を受けて現地確認等を行い適時対応した。(内訳)悪臭4件・騒音2件	2件 増	×
	2 資源循環型社会の構築	1 5Rの推進	1人1日あたりのごみ排出量	769.8g/人・日 (令和元年度)	746g/人・日 (令和12年度)	710g/人・日	698g/人・日	計画に基づき事業を実施し、数値は令和4年度より毎年減少している。住民の分別意識が高まり、ごみが減少しているのではと考えられる。	12g/人・日 減	○
			リサイクル率	21.0% (令和元年度)	28% (令和12年度)	14.2%	12.8%	計画に基づき事業を実施したが、数値は前年度より減少した。減少の一因として資源化焼却主灰の資源化量が減少したことが考えられる。	1.4% 減	×
			最終処分量	802t/年 (令和元年度)	725t/年 (令和12年度)	627t/年	672t/年	焼却飛灰の保管状況により荒沢最終処分場への運搬時期が変動するため実績値が増減する。	45t/年 増	○
		2 適正な処理・処分の推進	不法投棄・野焼き件数	20件 (令和元年度)	10件 (令和12年度)	2件	10件	毎月、不法投棄パトロールを実施したことにより、発見件数増加。 通報等により事案が発生した際には現場確認を行い、原因者が判明してる場合は指導を行った。	8件 増	○
	3 環境保全型の持続可能な農林水産業の促進	1 環境に配慮した農林水産業の推進	にいがたグリーン・ツーリズム(農家民宿、直売所、農家レストラン)の登録件数	10件 (令和元年度)	10件以上 (令和12年度)	11件	11件	地域内に存在する多様な資源を組み合わせ、グリーン・ツーリズムを核とした各種ツアー・イベントの企画・実施やグリーン・ツーリズムに関わる人材育成、資源開発等、モデルプランの作成を行った。	増減なし	○
		2 持続可能な農林水産資源利用の推進	認定農業者登録件数	423人 (令和元年度)	450人 (令和12年度)	348人	331人	更新者については、認定農業者を継続できるように、農業経営改善計画の見直し等の指導を実施。新規の認定農業者については、農業経営改善計画を達成できるよう作成指導を実施した。	17人 減	×

基本目標	施策の方向性		環境指標	現況値 (計画時)	目標値 (達成年度)	令和5年度 実績	令和6年度 実績	令和6年度の 取組内容	前年度実績 との比較	達成状況
3 地球規模の 気候変動等を 意識した環境 対策の展開	1 省エネルギー の推進	1 省エネルギー 活動の推進	市民1人あたりエネルギー使用量	105GJ/人 (平成29年度)	105GJ/人 (令和12年度)	82GJ/人 (令和3年度)	81GJ/人 (令和4年度)	・木質バイオマスストーブ設置費補助金の実施。 ・村上市未来に向けた住まいづくり推進事業補助金 (旧:村上市住宅リフォーム事業補助金)の実施。 ・市内公共施設へのEV充電設備の設置。(市内合計 21施設47基) ・公共施設照明LED化の推進。 ・環境啓発事業(環境フェスタ、グリーンカーテン)など の実施。	1GJ/人 減	○
	2 再生可能エネ ルギー等の利用 促進	2 再生可能エネ ルギー機器の 普及	市内における再生可能エネ ルギー発電設備の発電出力	95MW (令和元年度)	130MW (令和12年度)	96.0MW	96.4MW	・住宅用太陽光発電システム設置費補助金の実施。 ・民間事業者による洋上風力発電事業や木質バイオ マス発電事業などの再生可能エネルギー導入につい ての側面的支援。	0.4MW 増	×
	3 温室効果ガス 排出量の削減	1 温室効果ガス 排出量の削減	市内の温室効果ガス排出量	577千t-CO2 (平成29年度)	477千t-CO2 (令和12年度)	438千t-CO2 (令和3年度)	439.9千t-CO2 (令和4年度)	※「市民1人あたりエネルギー使用量」と同様。	1.9千t-CO2 増	○
			市有施設等の温室効果ガス排出 量	26.1千t-CO2 (令和元年度)	22.3千t-CO2 (令和12年度)	24.4千t-CO2	25.2千t-CO2	電気や灯油などの使用で発生するエネルギー起源 CO2は削減することができたが、ごみ処理場の廃棄物 焼却で発生するごみの処理量におけるプラスチック重 量が大幅に増加したことにより、非エネルギー起源 CO2が増加し、全体での微増となった。	0.8千t-CO2 増	×
	4 気候変動の 影響への適 応	2 気候変動によ る影響への対 応	熱中症患者発生件数	91件 (令和元年度)	50件 (令和12年度)	69件	46件	令和6年5月に策定された市熱中症対策実行プランに 基づき、関係各課と連携し、従来の方法に加えて SNS(ライブビジョン含む)を利用した市民への普及啓 発や注意喚起に努めた。昨年比で33%の減少に繋げ た。	23件 減	○
4 歴史・伝統と 美しい自然を 活かした景観 づくり	1 美しい田園、 里山、海岸景 観の保全	2 自然景観資 源の保全活 動の推進	クリーン作戦や一斉清掃の実施 回数	83回 (令和元年度)	80回以上 (毎年)	96回	113回	例年同様に環境美化用のごみ袋の無料配布とごみの 回収を実施し、目標値は達成した。	17件 増	○
	2 歴史ある町並 みや景観の 保全	2 歴史文化資 源の保存活 動の推進	伝統行事支援事業の実施件数	5件 (令和元年度)	50件/10年 (5件/年)	12件 (累計29件)	15件 (累計44件)	①屋台保存修理事業(国庫補助事業)⇒村上祭の屋 台行事:5件 ②地域文化財活性化総合整備事業⇒瀬波祭:2件、 岩船祭:1件、村上七夕祭:6件、坂町獅子踊り:1件	3件 増	×
5 市民や産業と ともに発展す る環境づくり	1 環境意識の 向上	2 環境学習等 の促進	環境学習イベント後の満足度(ア ンケート)	-	50% (令和12年度)	74%	93%	令和6年10月5日に開催された環境フェスタ村上2024 に実施したアンケート内で来年も参加したいと回答い ただいた割合。(527人/569人)	19% 増	○
	2 環境活動の 推進	1 環境保全活 動への参加 の促進	環境フェスタ参加団体数	12件 (平成30年度)	100件/10年 (10件/年)	17件 (累計17件)	17件	令和6年10月5日に環境フェスタ村上2024を開催し、17 団体に参加していただいた。	増減なし	○
	3 ネットワーク の形成	1 地域内のネッ トワーク形成 の推進	クラインガルデン利用者数	639人/年 (令和元年度)	600人/年 (令和12年度)	548人/年	254人/年	栽培講習会をはじめ、納涼祭や収穫祭、視察研修会 など、計画どおり行ったほか、地元施設利用者を中心 にサポーターの指導のもと、積極的な交流を図ること ができた。 利用者の数が減ったのは、契約数の減少ではなく、作 業しに訪れる人が減ったためであり、個人で契約して いる方で全く作業に来なくてサポーター任せになって いるケースも多くなっている状況である。	294人/年 減	×